

# 心を合わせ、夢に向かう。

今月は、明秀学園日立高等学校（以下「明秀日立高校」という。）の高秋キャンパスで部活動に励む生徒たちを特集します。親元を離れ、高秋の地で寮生活を送りながら夢を追いかけます。



**石** 滝の旧高秋工業高校の跡地に、平成25年、明秀日立高校の男子寮「明高館」が完成しました。現在、寮生は野球部・サッカー部・卓球部の生徒197人。中学卒業後に親元を離れ、この高秋の地で夢に向かい頑張っています。

**夏の甲子園に向けて**

野球部は昨秋、関東大会決勝で山梨学院を接戦の末に破り初優勝。春の甲子園出場を果たしました。「受け身にならず、自律した野球をどう仕向けていくか。夏に向けての雰囲気になってきている」と金沢成泰監督。取材を受けながらも一人一人の選手に目を配り、食事でもアドバイスを送ります。それに答える選手たち。同じ夢に向かう者同士の絆と信頼関係が築かれています。



明秀日立高校 高秋キャンパスの男子寮「明高館」。運動部の約200人が寮生活をしている。



**高秋のサッカー場に感謝**

サッカー部は5月末に行われた関東高校サッカー大会で初の関東制覇を果たしました。

萬場努監督は「石滝サッカー場のお陰でレベルアップし、結果を残すことで各地域から選手が集まってくれる。それが優勝に結びついた話します。」

練習は天候に関係なく、グラウンドで行われます。懸命にボールを追い、シュートに「日本二への思いを込めて。」



①声を出しながらウォーミングアップ②ピッチャーが投げるタイミングを見極めるの走塁練習③走りでも乱れないように④金沢監督のアドバイスに耳を傾ける⑤強化期間は夕食後も練習が行われる⑥相手をかわしてドリブル⑦ドリブルからシュートへ⑧一つ一つのシュートを全身で止める

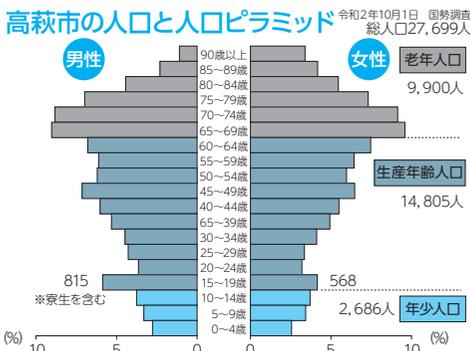
## 夢は夏の甲子園

明秀日立高校で初の女性マネージャーとなったのは、宮城県大崎市出身の田中杏璃さん。中学時代、野球クラブのマネージャーを務めていた田中さんは、金沢監督のいる明秀日立高校野球部でマネージャーをしたいと監督に手紙で思いを伝えたそうです。今年が高校生活最後の夏。



「一人一人の選手をしっかり支えなくては」と決意に満ちています。

野球部マネージャー  
たなか あんり  
田中 杏璃さん(3年)



	平成	昭和
25年9	20年4	20年3
18年4	38年10	
明高館が完成	体育施設を一般開放	高秋工業高校閉校
		高秋工業高校と松丘高校とが統合し高秋清松高校となる
		高秋工業高校創立

明高館ができるまで